

ト

ピ

ア

第75号



2019.01

TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL : 088-656-3303



謹賀新年

年頭のご挨拶



公益財団法人徳島県国際交流協会
理事長 黒石 康夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えになられたことと思います。

今年は「いのしし年」、干支では、「己亥（つちのとい）」とされており、「次のステージに向けた準備の年」であるそうです。

当協会は、平成2年に本県の中核的国際交流団体としてスタートし、本年で29年目を迎えました。これまで、県民の皆様を始め、関係各機関・団体の御支援、御協力によって、設立目的に添った事業を進めてまいりましたが、来年には設立30周年を迎えることとなります。これまでの事業・運営に対して不断の見直しを行うとともに、社会の状況変化に迅速に対応できるよう取り組んでまいります。

さて、徳島県におきましては、交通の要であるJR徳島駅に併設された「徳島駅クレメントプラザ」6階に、「とくしま国際戦略センター」を開設しております。この施設は、外国人に対する情報の受発信拠点として、会議室や図書コーナーを備えており、本県を訪れる外国人観光客はもとより、地域に在住する外国人に対する生活・文化・防災などの各種情報提供サービスを行っております。当協会は、この施設の運営管理を担っており、県の施策と連動し、外国人の方への「日本語教室」の開催、阿波おどり「あらそわ連」の実施や、多言語での生活相談に応じるとともに、県民の皆様へ外国人に対する理解を深めていただくための「外国人による徳島県日本語弁論大会」や「国際理解支援フォーラム」の開催、「通訳ボランティア」の派遣など、当協会独自の事業を鋭意実施しております。

昨年、新たな取組として、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、「在住外国人」や「災害時通訳ボランティア」及び「支援機関」など約100名の関係者が参加し、「とくしま国際戦略センター」と「徳島駅クレメントプラザ屋上」を利用し、「大規模災害時外国人対応想定訓練」を実施いたしました。大規模災害が発生した場合、「とくしま国際戦略センター」に、「災害時外国人相談センター」を県国際課と共同で開設することとなっております。訓練では、徳島市危機管理局に御協力をいただき、避難所の機能や避難所でのルールを学ぶ避難所体験を始め、県国際課と協力して、多言語の情報提供、災害時通訳ボランティアの派遣訓練、更には、高松入国管理局、徳島労働局、徳島弁護士会、徳島県医師会、徳島県行政書士会及び法テラス徳島の相談支援機関に御協力をいただき、災害時の相談訓練などを実施いたしました。訓練の様子は、マスコミでも大きく取り上げられたところであり、御支援頂いた多くの皆様方に、改めて感謝申し上げます。

また、昨年末でございますが、国会において、外国人材の受入拡大を図る改正入管難民法が成立いたしました。今後、本県においても外国人を取り巻く状況は、大きく変化することが予想されます。当協会も新たな役割・事業を担うことが期待されており、現状に甘んじることなく、地域の国際化の旗振り役として、一層、貢献して参りたいと考えております。

最後に、本年が皆様方にとりまして、幸多き年でありますことを御祈念申し上げますとともに、引き続き、当協会への御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭の御挨拶とさせていただきます。



大規模災害時外国人対応想定訓練の様子



毛布と棒で応急担架を作りました！



トレイ設営体験

相談訓練



炊き出しには温かい豚汁をいただきました。

防災センタースタディツアー

平成30年12月9日（日）に在県外国人を対象に防災センター・スタディ・ツアーを開催しました。5カ国21名の方に参加していただき、県立防災センターで地震、台風などの災害疑似体験を通して災害に対する備えの重要性の認識を深めるとともに、南海トラフ巨大地震をはじめとした防災意識を深めました。



11月10日（土）13時から徳島県国際交流協会会議室にて、迫田久美子先生（広島大学特任教授・国立国語研究所客員教授）をお招きし、「学習者とその気にさせるクラスづくりを目指して」と題して、3時間半の講座を開催しました。

迫田先生の日本語受講生に向かい合う情熱的な、それでいて細やかな配慮を忘れない姿勢に参加者からも大いにエネルギーや勇気、自信を頂いたように思います。それぞれの日本語支援者が、益々、それぞれの場所で、がんばれる力をもらった講座となりました。

スキルアップ講座に参加して

美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」

代表 遊亀 美枝

日本語教室がなかった美波町（海部郡）が文化庁の「地域日本語教育スタートアップ事業」を受けて、今年で3年目になります。おかげさまで「美波日本語教室」を開設することができ、日本語ボランティアの団体「ハーモニー」が中心となって運営しております。「学習者とその気にさせるクラスづくりを目指して」というこの講座のタイトルを見たとき、これはいい勉強になる！と思い、ハーモニーの仲間と共に3人で参加しました。

直感は当たっていました。迫田久美子先生のお話は、元気で（声が大きい！）明るく、面白くて、分かりやすかったです。きっと先生の日本語教室もこんな感じなんだろうなと思いました。講座から得たことはたくさんありますが、いくつか紹介します。まず、「誤用を大切にする」ということ。誤用から学習者の学びの現状を知り、教師として対応に役立てることができるから。次に、学習者の立場に立って、それぞれの「ニーズを知る」ということ。学習者が望む日本語教師の条件として「柔軟性」「楽しい授業」「幅広い知識」がベスト3になった調査結果が興味深かったです。最後に、コミュニケーション指導の方法をいくつか紹介してくれました。「インフォメーションギャップ」「ロールプレイ」「フィードバック」「有意味な場面、現実味」そして「シャドーイング」等々。途中で、5名の様々な経験や立場の日本語教師の皆さんがビデオ出演して、それぞれにインタビューに答える様子を観ました。「これから日本語教師となる人へ一言」の中から私の心に残ったことを最後に書き添えます。迫田先生、TOPIAの皆様、有意義な講座をありがとうございました。これからの活動支援に生かしたいと思います。

「言葉は心、心を大切に」「いつも好奇心を、アンテナを立てて」「引き出しをたくさん持って」
「学習者も教師も楽しむ授業」「異文化交流は発想の転換（柔軟性）」



「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊」 事業の協働パートナーとなって

徳島県国際交流協会と県内16の市町村国際交流協会等との連携を図るため、平成29年12月に「徳島県・市町村国際交流協会等連絡協議会」が設立され、徳島県国際交流協会が、その事務局を担っております。昨年11月2日（金）に開催されました平成30年度第1回協議会総会では、徳島県が実施している「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊」事業に参加するための「協働パートナー」になることが採択されました。

徳島県の面積の約8割は「中山間」と呼ばれる農山漁村地域が占めています。そこには豊かな「徳島の宝」がある一方で、過疎化・高齢化・耕作放棄地などの問題に直面しています。そこで県では、社会貢献活動に前向きな企業や大学、NPO法人などと、応援を求める農山漁村地域の間を取り持ち、農作業支援、地域の文化活動や活性化の取組み等を両者の協働により実施しようという事業です。

昨年11月26日（月）には、徳島県知事と当協議会会長（徳島県国際交流協会理事長）との間で、「協働パートナー」就任のための協定を締結いたしました。当協議会は、地域の活動や取組みに、在住外国人とともに参加することとなりますが、それは、在住外国人が地域の人々と関わることで、日本の文化や慣習、日常生活というものを身近に体験できるばかりでなく、地域の一員として社会参加し、貢献できることで、そこには大きな意義があります。また一方、地域の住民にとっては、今後益々増加すると予想される外国人住民と活動を共にすることで、異文化理解、多文化共生の意識醸成のきっかけづくりができることです。

早速、今年2月には、勝浦町さかもとの「ビッグひなまつり」の準備作業がありますので、在住外国人の方の参加を募りたいと思います。

徳島県・市町村国際交流協会等連絡協議会

今後は、協議会のメンバーである市町村国際交流協会等も独自に、この「応援し隊」事業を通じて、様々な地域の祭りの手伝い、収穫の手伝い等を実施できることとなります。地域住民と在住外国人が協働で、多文化共生社会づくりの一役を担っていただきたいと思います。



「とくしま農山漁村（ふるさと）協働パートナー協定」締結式にて

一緒におひな様をかざりませんか？

お知り合いの外国人の方に、ご案内ください！

日時：2月2日（土）9:20～16:00

集合場所：徳島駅前ホテルサンルート横

活動場所：勝浦町さかもと ビッグひな祭り会場

参加料：無料 ＊先着順です。

＊お昼ご飯を無料でご提供いたします。

お申し込み（メール又は電話）：

TEL:088-656-3303

Email: coordinator2@topia.ne.jp（野水）

※ 1月24日（木）までに氏名、年齢（2月2日現在）性別、出身国、電話番号、Emailを記載の上お申し込み下さい。



ホームステイ・ホームビジット事業

当協会では徳島県地域留学生交流推進協議会との共催で、徳島県内の留学生とご家族を対象に、ホームステイ・ホームビジットを実施しています。今年度は平成30年11月10日（土）から12月9日（日）までの間に、留学生等18名がホストファミリーの方々と一緒に楽しい時間を過ごしました。

ホストファミリーからの感想

- モンゴルやバングラデシュの文化やお国の様子を初めて知ることができて良かったです。若い外国の人たちが、異国で勉強や仕事や子育てを頑張っているのは刺激になりました。大したものではないですが、ランチもいっしょに作って、食べて、楽しかったです。
- 日本や徳島の良さを改めて感じる事ができた。
- 孫たちとゲームをしてもらったり、外国のお話を聞かせてもらったりすることができて、大変良かったです。
- トランプのババ抜きで盛り上がりました！会話も楽しかったです！
- とても礼儀正しく、好奇心が旺盛な好青年で私たち家族にとってもとても楽しい時間でした。また、再会することを約束してお別れしました。貴重な時間を共有することができ嬉しく思います。
- K-Popの話をしたことや、クレープを一緒に食べたこと、ゲームで一緒に遊んだこと、習字でゲストの名前を書いたことが楽しかったです。



留学生からの感想

- Tさんが私たちを石井駅まで迎えに来てくれた後、スーパーに寄り、食材を購入しました。Tさんの家に着いたとき、Tさんご家族と飼犬のR君が私たちを出迎えてくれました。一日中、私たちは自国での生活、そして日本について話し合いました。
- 私は2年前に日本に来てから一度も母国に帰っていないので、寂しい思いをしていたのですが、今回のホームステイで家族の一員として過ごすことができて良かったです。子ども達と遊んだり、赤ちゃんを抱っこしたり、食事の用意を一緒にするなどして、とても楽しめました。
- 楽しい2日間を過ごしました。その中で一番良かったのはホームステイを通じて、自身で日本の家庭生活を体験したことです。子ども達は上手なピアノ演奏会を開いてくれて、楽しかったです。
- 一緒に藍染めを体験したり、たこ焼きや手巻き寿司を作ったり、本当に楽しかったです！
- 子ども達が私でもわかる簡単な日本語を話してくれたので、日本語を間違っても恥ずかしく感じませんでしたし、沢山のゲームを一緒にして日本語の上達に役立ちました。
- 自分自身で日本人の家庭に行って、いっしょに食事し、掃除し、農作業をし、それぞれの国の文化などを交流して、日本文化への理解を深めることができました。
- 一緒にピクニックに行きたい。ピクニックでどんな食べ物を準備するかを知りたい！
- 初めて日本人の家を訪れて、日本人がどのような暮らしをしているかがわかって良かったです。



お芋掘りを体験！



～県内国際交流団体活動紹介～

身近でみんなの「グローバル」を目指して

藍住町国際交流協会
会長 友滝 洋子

藍住町は徳島市のベッドタウンとして、人口減少傾向の著しい県内において人口増加を続ける屈指の町です。平成30年11月末現在、町人口は35,207人で、そのうち外国人の数は208人、出身国の数は23カ国に及びます。国別では、ベトナム出身者が70名と最多であり、次に中国67名、フィリピン16名、韓国等と続きます。町内在住の外国人の町人口に占める割合は、たったの0.6%に過ぎませんが、このマイナーな数値をどのように捉えていくかが、今後、国際社会に対応可能な町としての姿勢にも繋がっていくのではないかと確信しています。

この藍住町に国際交流協会を設立したいと、仲間と力を合わせ、それが実を結んだのは平成15年10月のことでした。前年の平成14年から準備を重ね、発足メンバーは様々な研修や県内外の国際交流団体の活動状況を収集しながら、藍住町国際交流協会（愛称' sアイズ）の設立に漕ぎ着けました。あれから15年、その当時の熱い想いを懐かしく思い出す今日この頃です。

当協会の目標とするのは、「グローバル」＝global+local（地球規模の視野で考え、地域視点で活動する）です。地域で暮らす外国人と地域住民が互いの文化を理解し、共に助け合いながら幸せを感じることができると社会の実現です。世界には196もの国があり、どの国の人たちも自国を愛し、自分たちの文化に誇りを持って生きていることを幼少期から知ってもらいたいと考えています。縁あって日本で暮らす外国の人たちに、日本の文化や言語、歴史や慣習など日本人との交流を通して真の日本を知ってもらえればと願っています。

藍住町国際交流協会では、外国人対象の「日本語教室」の常設、外国の方々からのお話やJICAの体験談、日本の文化や伝統を知るための研修旅行、親睦を深めるBBQ、春のひな祭りやお正月遊びなど様々なイベントを実施しています。今年も、3月3日に「ひな祭りパーティー」、4月22日には広島県福山市鞆の浦への研修旅行、6月17日の国際理解講演会「世界を感じてみませんか」、7月22日には「国際交流BBQ」を実施しました。また、6月から8月にわたり、文化庁の委託事業である「日本語指導ボランティア養成講座」を開催し、多数の受講生を町内外から受け入れました。当協会が養成講座を委託されたのは過去にも複数回あったので、スタッフの役割分担も容易でしたし、一同、改めて日本語を教えることの重要性や必要性を認識するに至りました。

現在、当協会の活動拠点である藍住町福祉センターが、予てよりの計画どおり老朽のために解体の運びとなったため、常設の外国人対象「日本語教室」は会場を役場研修室に移転していますし、活動自体の自粛を余儀なくされている次第です。新しい文化施設が完成するのを心待ちにしながら、理事会では次年度に向けての企画を練っているところです。

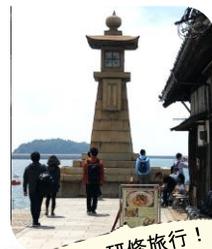
発足から15年が過ぎた今、地域の国際交流協会としての見直しや取り組み方法を考慮すべき時期ではないかと感じつつ、改めて「グローバル」を目標に掲げながら一歩一歩進んで行きたいと考えています。



JICA講演会「世界を感じてみませんか」の講師さんとスタッフ



国際交流BBQ



広島県へ研修旅行！



「日本語指導ボランティア養成講座」

JICA徳島デスクからのお知らせ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

■JICA海外協力隊（JICAボランティア）「全国説明会キャラバン【徳島】」の開催

- ◇プログラム：ご挨拶・プロローグ／JICAボランティア事業概要／経験者との座談会（応募、派遣中、帰国後のサポートについて）／個別相談会（事前予約制）
- ◇日時：2月23日（土）午前の部：11時から13時30分／午後の部：14時30分から17時
（※午前、午後と内容は同じです。ご都合の良い回にご参加ください。）
- ◇会場：とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）会議室4（5F）
- ◇参加申込方法：下記のリンクより事前予約が必要です。（応募〆切：2月21日（木）17時）
URL：<https://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/place/>



■2019年度「JICA海外協力隊」春募集：2019年2月13日（水）～4月3日（水）

JICA海外協力隊とは、開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、技術や経験を活かして人々の自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

◇募集期間：2019年2月13日（水）～2019年4月3日（水）

◇詳細URL：<https://www.jica.go.jp/volunteer/>

マレーシアで活動中!!
新体操・佐近美沙紀隊員



■JICA四国の事業メニュー紹介

四国には、その自然環境と歴史・文化に培われた多様で優れた技術やノウハウが数多くあります。JICAでは、地域で発展してきた技術や経験を開発途上国の発展にも活用し、国際協力を通じて地域の活性化や国際化にも貢献していきたいと思っています。JICA事業にご関心のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

◆草の根技術協力事業

技術協力を通じて途上国の方々の生活改善を支援しています。

【事業提案の応募は、以下の3コース】

- 草の根協力支援型（3年以内、1,000万円以内）
- 草の根パートナー型（5年以内、1億円以内）
- 地域活性化特別枠（3年以内、6,000万円以内）

◆中小企業・SDGsビジネス支援事業

四国の技術、世界へ！四国の中小企業と途上国を繋ぎます。

- 基礎調査（850万円上限）
- 案件化調査（3,000万円、機材輸送が必要な場合は5,000万円上限）
- 普及・実証事業（1億円、大規模／高度な製品等を実証する場合は1.5億円を上限）
- 「民間連携ボランティア制度」を通じたグローバル人材の育成

◆研修員受入事業

開発途上国からの研修員が四国の知識、経験を学んでいます。大学・地方自治体・民間団体などの協力を得て、四国の特性を活かした四国ならではの研修を実施しています。

◆開発教育支援事業

地域や学校の皆さんと世界を学びます。

教員向けJICA地球ひろば「先生のお役立ちサイト」学習指導案・写真・映像・パンフレットデータ・教材／教師海外研修／JICA海外協力隊への現職参加

→検索「JICAお役立ち」

児童・生徒向け国際協力出前講座・国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト



※JICAは、「誰一人取り残されない」を理念とした、2030年までに国際社会が取り組む「持続可能な開発目標（SDGs）」達成に向けても積極的に取り組んでいます。

<お問合せ> JICA徳島デスク（TOPIA内）国際協力推進員 長田有加里
電話：088-656-3303 メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

「とくしま外国人支援ボランティア会員」

募 集 中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめとする、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

※7月より名称及び要綱・申込書が変更しております。

英語・中国語による

多言語電話相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しています。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフオン）もごございます。是非、ご利用ください。

受付時間：平日 10:00～18:00

TEL：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合がありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報や会議室の予約を優先して受けることができます。さらに特典の充実に務めてまいります。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

在住外国人の方対象の「防災出前講座」をご活用下さい！

当協会では、近年危惧されている南海トラフ巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。*申込は当協会まで。



防災出前講座の様子



問合せ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831
徳島市寺島本町西1-61
クレメントプラザ6F
TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616
URL: <http://www.topia.ne.jp>
Email: topia@topia.ne.jp